2025　年度版

エコアクション21
認証番号 0006009

# エコアクション21環境経営レポート

（対象期間：2025 年6月1日～　2026 年5月31日）



庄野電気

〒664-0012　兵庫県伊丹市緑ヶ丘1丁目324番地
庄野電気工事株式会社
TEL　072-782-1375　FAX　072-770-4409
URL　http://www.shonodenki.com
E-MAIL　info@shonodenki.com

発行日：　2026年6月1日

# 目次


目次 P1

環境経営方針 P2

組織の概要 P3

実施体制の構築 P4

環境負荷等の実績と環境目標 P5

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 P6～P7

環境活動の取組結果 P8～P9

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無 P10

代表者による全体の評価と見直し・指示 P11

所在地 P12

環境活動 P13

# 環境経営方針

制定日：2009年12月1日

改定日：2022年6月1日

## ＜基本理念＞

当社は「信用を重んじる」をモットーに、お客様第一の電気設備工事を
創造する会社として、常に環境への配慮を考えた事業、活動を展開する。
次世代に残るより良い地球環境の創造を目指します。

## ＜行動指針＞

１．環境経営システムを構築し次の事項を重点的なテーマとして継続的改善に
取り組みます。

取組の重点分野

① 省エネ（電気）省資源（化石燃料）推進によるCO2削減
② 廃棄物分別の徹底と再生利用の向上・施工方法改善による発生量・排出量の削減
③ 水使用量の削減
④ 環境にやさしい施工の推進、環境配慮型製品の販売促進

２．環境保全に関わる法令・規則・条例等を遵守します。

３．環境経営レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

４．この環境経営方針を全従業員に周知します。

代表取締役 

# 組織の概要



●事業所名及び代表者名
**庄野電気工事株式会社**
代表取締役社長　庄野　隆二

●所在地
〒664-0012
兵庫県伊丹市緑ヶ丘1丁目324番地 【　対象事業所　】

●環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者　庄野　隆二
環境管理担当者　井月　大輔
TEL:072-782-1375

●認証登録範囲
（対象事業所）　本社
（事業活動）　電気設備・電気通信設備・消防設備・太陽光発電設備の工事・管工事
（事業許可）　・電気設備
兵庫県知事　許可（特-7）第206355号　　許可日　令和8年2月20日
・電気通信設備・消防設備・管工事
兵庫県知事　許可（般-7）第206355号　　許可日　令和8年2月20日

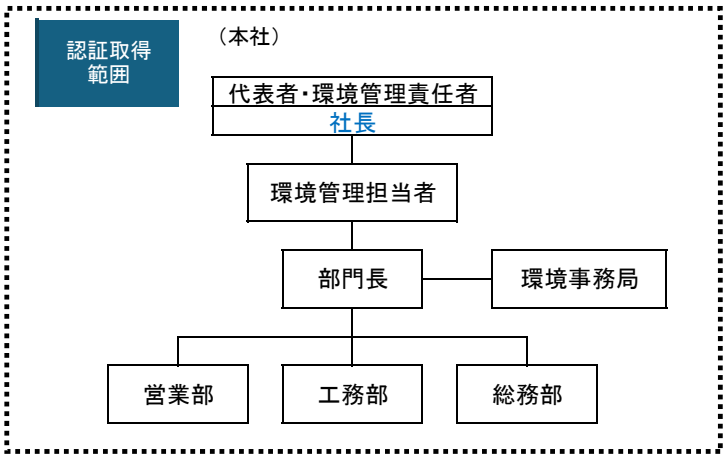
●事業の規模

| 活動規模 | 単位 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 百万円 | 1000 | 1020 | 1168 |
| 従業員 | 人 | 25 | 28 | 25 |
| 床面積 | ㎡ | 351.42 | 351.42 | 351.42 |

# 実施体制の構築

## 庄野電気工事株式会社　環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2025年6月1日




| | 役割・責任・権限 |
|---|---|
| 代表者（社長） | ・環境経営に関する統括責任<br>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備<br>・環境管理責任者を任命<br>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知<br>・環境経営目標・環境経営計画を承認<br>・代表者による全体の評価と見直しを実施<br>・環境経営レポートの承認 |
| 環境管理責任者 | ・環境経営システムの構築、実施、管理<br>・環境関連法規等の取りまとめ票を承認<br>・環境経営目標・環境経営計画を確認<br>・環境活動の取組結果を代表者へ報告<br>・環境活動レポートの確認 |
| 環境管理担当者 | ・代表者から権限を委任され、代表者の代理として環境経営システムの構築、実施、管理 |
| 環境事務局 | ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局<br>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施<br>・環境経営目標・環境経営計画原案の作成<br>・環境活動の実績集計<br>・環境関連法規等取りまとめ表の作成<br>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施<br>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口<br>・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） |
| 部門長 | ・自部門における環境方針の周知<br>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施<br>・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告<br>・特定された項目の手順書作成及び運用管理<br>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成<br>試行・訓練を実施、記録の作成<br>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 全従業員<br>全協力会者 | ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚<br>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

# 環境負荷等の実績と環境経営目標

## 表1. 主な環境負荷等の実績

| | | 単位 | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 電力使用量 | | kWh | 25,215 | 24,127 | 24,050 |
| 電気二酸化炭素排出量 | | Kg-CO2 | 7,842 | 7,503 | 7,480 |
| ガソリン使用量 | | ℓ | 15,926 | 16,347 | 17,064 |
| ガソリン二酸化炭素排出量 | | Kg-CO2 | 36,948 | 37,924 | 39,588 |
| 軽油使用量 | | ℓ | 2,170 | 4,559 | 4,509 |
| 軽油二酸化炭素排出量 | | Kg-CO2 | 5,600 | 11,762 | 11,633 |
| 総二酸化炭素排出量 | | kg-CO2 | 50,459 | 57,257 | 58,768 |
| 産業廃棄物排出量 | 埋め立て | t | 23 | 21 | 25 |
| (金属くずプラス) | 合計 | t | 38 | 32 | 38 |
| 一般廃棄物排出量 | | Kg | 480 | 480 | 480 |
| 水使用量 | | $m^3$ | 101 | 95 | 94 |
| グリーン購入 | | % | 30 | 32 | 16 |
| 自動車燃費 | | km/ℓ | 11 | 11 | 12 |
| 環境配慮した設計と施工及び設備の提案の促進 | | 件 | 41 | 41 | 39 |

※総二酸化炭素排出量＝電気+ガソリン+軽油+ガス
※電力の二酸化炭素排出係数は関西電力の2021年度調整後排出係数(0.311kg-CO2/kWh)を用いた

## 表2. 環境経営目標設定書

基準年は2024年度

| | 単位 | 基準値 | 2025年 | 2026年 | 2027年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 電力使用量 | kWh | 24,127 | 24,006 | 23,885 | 23,765 |
| 電気使用量(二酸化炭素排出量) | kg-CO2 | 7,503 | 7,465 | 7,428 | 7,391 |
| 産業廃棄物排出量 | t | 32 | ー(適正管理) | ー(適正管理) | ー(適正管理) |
| 一般廃棄物排出量 | Kg | 480 | 478 | 475 | 473 |
| 水使用量 | $m^3$ | 95 | 95 | 94 | 94 |
| グリーン購入 | % | 32 | 33 | 33 | 34 |
| 自動車燃費 | km/ℓ | 11 | 11 | 11 | 11 |
| 環境配慮した設計と施工及び設備の提案の促進 | 件 | 41 | 42 | 43 | 44 |

※環境目標は前年の数値を参照するため、次年度の数値のみ記載
基準年度(2024年度)*99.5%として算出
(環境配慮した設計と施工及び設備の提案の促進については前年+1とする)
※化学物質は使用していないため目標は設定していない

# 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

| 電力の削減 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 今年度取組 | 評価 | | 考察(反省点)(振り返り) | 次年度取組 |
| エアコンの適切温度 | ×未達成 | | デジタルサイネージにて呼びかけをする | エアコンの適切温度 |
| 不要照明の消灯 | 目標/実績(Kg-CO2) | | | 不要照明の消灯 |
| | 7,465 | / 7,480 | | |
| | 達成率 | 99.8% | | |

| 産業廃棄物の適正管理 | | |
|---|---|---|
| 今年度取組 | 評価 | 次年度取組 |
| 金属廃棄物分別の徹底 | ○達成 | 金属廃棄物分別の徹底 |
| | 目標/実績(t) | |
| | ー(適正管理) / 38 | |
| | (t) | |

| 一般廃棄物の削減 | | | |
|---|---|---|---|
| 今年度取組 | 評価 | 考察(反省点)(振り返り) | 次年度取組 |
| 一般廃棄物の軽減 | ×未達成 | 圧縮を意識すること | 一般廃棄物の軽減 |
| | 目標/実績(t) | | |
| | 477.60 / 480.00 | | |
| | 達成率 99% | | |

# 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

| 水使用量の削減 | | | |
|---|---|---|---|
| 今年度取組 | 評価 | 考察(反省点)(振り返り) | 次年度取組 |
| 節水の呼びかけ | ○達成 | デジタルサイネージにて呼びかけをする | 節水の呼びかけ |
| | 目標/実績(㎥) | | |
| | 95 / 94 | | |
| | 達成率 101% | | |

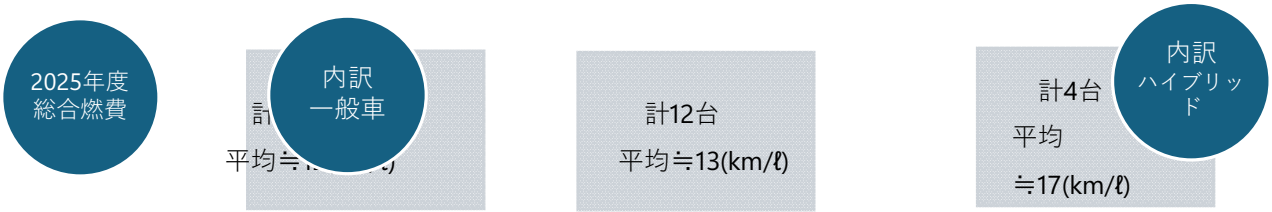
| グリーン購入の推進 | | | |
|---|---|---|---|
| 今年度取組 | 評価 | 考察(反省点)(振り返り) | 次年度取組 |
| 対象品の製品購入 | ×未達成 | 購入商品を意識する | 対象品の製品購入 |
| | 目標/実績(%) | | |
| | 33 / 16 | | |
| | 達成率 50% | | |

| 燃費率の向上 | | | |
|---|---|---|---|
| 今年度取組 | 評価 | 考察(反省点)(振り返り) | 次年度取組 |
| 加速、減速の少ない運転 | ○達成 | 引き続き意識する | 加速、減速の少ない運転 |
| ガソリン最安値日の共有 | 目標/実績(km/ℓ) | | ガソリン最安値日の共有 |
| | 11 / 12 | | |
| | 達成率 107% | | |

| 環境に配慮した提案の推進 | | | |
|---|---|---|---|
| 今年度取組 | 評価 | 考察(反省点)(振り返り) | 次年度取組 |
| LED照明提案 | ×未達成 | 引き続き行う | LED照明提案 |
| エコシルフィの提案 ※ | 目標/実績(件) | | エコシルフィの提案 ※ |
| | 42 / 39 | | |
| | 達成率 93% | | |

※天井から床への送風による温度ムラ等の改善ができる装置(20%省エネ)

＜燃費の内訳＞



# 環境活動の取組結果

毎月の全体会議において、電気使用量、水道使用量、ガソリン使用量、廃棄物排出量等の実績を報告し、社員全員で取組状況を共有しました。
電気使用量の削減については、不在時の消灯や不要照明の消灯、エアコンの適切な温度設定を実施しました。
水道使用量の削減については、日常的な節水を継続して実施しました。
廃棄物については、分別を継続して実施し、一般廃棄物の削減に取り組みました。
ガソリン使用量の削減については、エコドライブを継続して実施しました。

取組の結果、電気使用量、水道使用量、一般廃棄物については概ね目標に沿った実績となり、ガソリン使用量については目標を上回る結果となりました。

## 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は、次のとおりです。

| 適用される法規制等 | 遵守すべき要求事項 | 遵守評価 |
|---|---|---|
| 廃棄物処理法 | 廃棄物収集・運搬事業者及び廃棄物処理業者との委託契約 | ○ |
| | マニフェスト伝票の5年間保管・確認・管理 | ○ |
| | 毎年6月30日までに産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出 | ○ |
| | 廃棄物置き場　看板の設置 | ○ |
| 騒音規制法 | 特定建設作業開始の7日前までに市長への届出 | ○ |
| 振動規制法 | 特定建設作業開始の7日前までに市長への届出 | ○ |
| 自動車排出NOx・PM法 | 事業活動に伴う自動車排出窒素酸化物等の | ○ |
| | 排出抑制のために必要な措置を講ずるように努める。 | |
| フロン排出抑制法 | 業務用エアコンの廃棄・修理・整備時、フロン回収業者への引き渡し義務 | ○ |
| | 4半期に1回自社点検の義務・記録の保管 | |
| 消防法 | 危険物保管の指定数量1/5以上の届出 | ○ |
| 下水道法 | 公共下水道管理者にあらかじめ届出 | ○ |

環境法規制等の順守状況に関する定期評価の結果、環境法規制等の
逸脱はありませんでした。
過去3年間、関係機関等から環境関連法規制について指導、指摘等は
ありませんでした。
また、訴訟等も1件もありませんでした。

遵守評価日：2026年6月1日

# 代表者による全体の評価と見直し・指示

## 電　　力

目標未達成

評価

週1回のノー残業デーの定着に向けた取組や、エアコン設定温度の適正管理、不要箇所の消灯、クールビズの推進など、省エネルギー活動を継続して実施した。また、社員一人ひとりが節電への意識を持ち、日常業務の中で電気使用量の削減に努めた。しかし、猛暑による空調使用の増加などの影響もあり、目標達成には至らなかった。今後も継続して節電意識の向上を図るとともに、使用状況を見直しながら、さらなる電力使用量の削減に取り組んでいく。

## 燃　　料

目標達成

評価

毎月の車内整理および報告を継続して実施したことで、不要な荷物の積載を抑え、燃費向上への意識を維持することができた。また、安全運転や急発進・急加速を控えるエコドライブを継続して実践し、社員全員で燃料使用量の削減に取り組んだ。今後も車両管理とエコドライブを継続し、さらなる燃料使用量の削減に努めていく。

## 水道水の削減

目標達成

評価

水道使用量の月次報告や節水の呼び掛けを継続して実施し、社員一人ひとりの節水意識の向上に努めた。また、トイレの自動水栓などの設備を有効に活用し、日常業務における節水を推進した。しかし、使用状況の変化などにより目標達成には至らなかった。今後も節水意識の向上を図るとともに、日常的な節水行動を継続し、水道使用量の削減に努めていく。

## 産業廃棄物処理量

目標達成

評価

産業廃棄物の削減に向け、現場での分別を徹底するとともに、金属類や廃材の適正分別・リサイクルを継続して実施した。社員一人ひとりが廃棄物削減への意識を持ち、資材の有効活用や適正処理に取り組んだ結果、目標を達成することができた。今後も分別の徹底と廃棄物の削減を継続し、環境負荷の低減に努めていく。

## ＜実施体制＞

変更なし

## ＜見直し＞

電気・ガソリン・水道・産業廃棄物の各使用量については、月1回の全社員会議で実績を報告し、総務から留意点を周知することで、社内の意識づけが定着してきている。燃料・水道水・産業廃棄物処理量は取組の積み重ねにより目標を達成できており、電力についても取組自体は計画どおり実施できている。エコアクションの活動は、こまめな消灯、エアコンの温度管理、水の使い方、廃棄物の分別といった一人ひとりの小さな行動の積み重ねであり、ひいては環境・会社・一人一人のモラルを大切にすることにつながると再認識した。以上を踏まえ、現行の環境方針・目標及び実施体制については変更の必要はないと判断する。

## ＜指示＞

呼び掛けの方法については、デジタルサイネージなども活用し、社員の目に触れる機会を増やしながら意識づけを継続すること。目標に届かなかった項目は要因を分析し、次年度の環境活動計画に具体的な改善策を反映させること。また、自社の$CO_2$排出量を継続的に把握し、さらなる削減の余地を検討するとともに、DX推進による完全ペーパーレス化に向けた取組を進めること。

2026年6月1日
庄野電気工事株式会社
代表取締役　庄野 隆二

# 所在地



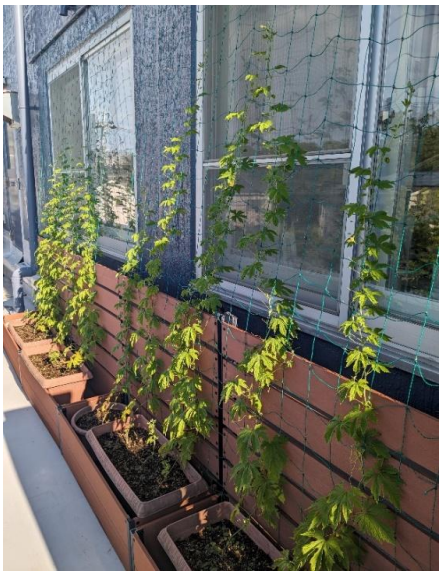

阪急「伊丹」駅より伊丹市バス

49・50番「緑ヶ丘小学校前」

下車徒歩3分

庄野電気

# 環境活動



省エネグリーンカーテン



エコキャップ




デジタルサイネージ